

新年のごあいさつ



大治町長
村上 昌生

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年、世界中で感染が拡大した新型コロナウイルス感染症は、東京オリンピック・パラリンピックの延期をはじめ、社会経済に大きな影響を与え、未曾有の事態となっています。このような状況の中、命を守るために日々医療の最前線でご尽力されている医療従事者の皆様に敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。

本町におきましては、県の緊急事態宣言に伴い、小中学校の臨時休業、中小企業への休業協力要請、また、各種イベント、講座などの事業の中止や施設の休館におきまして、大変ご迷惑をおかけしました。町民の皆様のご理解とご協力に、心より感謝申し上げます。

今冬、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザが同時に流行することによる医療現場の混乱を防ぐため、子どもや妊婦のインフルエンザ予防接種費用助成事業や、高齢者インフルエンザ予防接種の自己負担の無料化を実施しております。

今後、新型コロナウイルス感染症については、引き続き感染症対策を講じていくとともに、ワクチンの供給が可能となった場合には、速やかに接種を行えるような必要な体制の確保を図ってまいります。

また、災害と新型コロナウイルス感染症拡大の同時発生も危惧されますので、感染症対策用の資機材の増強や、避難所開設訓練の実施など、避難所における感染症対策に万全を期してまいります。町民の皆様におかれましても、マスクをはじめとする感染症対策用品の確保を進めていただきますようお願い申し上げます。

そして教育の面では、新型コロナウイルス感染症の流行により学校の臨時休業にも対応するため、子どもたちの学びを保障できる環境の整備を目的に、国のGIGAスクール構想が加速されました。本町の小中学校においても、昨年より1人1台のタブレット端末およびネットワーク環境の整備を進め、本年より運用を開始してまいります。

ほかにも、子育て支援施設の建設や、認知症対策をはじめとする高齢者福祉施策など、新型コロナウイルス感染症との長い闘いが予測される中においても、町民の皆様の安心・安全を第一に考え、町民の皆様がこれからもずっと住み続けたいと思えるようなまちづくりを進めてまいりますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年 元旦



新春を迎えて



愛知県知事
大村 秀章

あけましておめでとうございます。

新たな年が、県民の皆様にとりまして素晴らしい1年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症により、県民生活や経済活動に大きな影響が生じる中、愛知県では、県民の皆様にご協力いただきながら、「感染拡大防止・医療」「県民生活」「経済」の3つの対策を柱に、感染防止と社会経済活動の両立に取り組んでまいりました。

こうした中でも、ジブリパークの本体工事着手や、国内最大のスタートアップ支援拠点「ステーションA」事業開始など、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えつつ、「愛知」を「新起動」させる取組を進めた1年となりました。

世界は、新型コロナウイルスの感染拡大、グローバル化やデジタル化の加速度的な進展などにより、日々刻々と変化し続けています。愛知

県が活力を維持し、日本の成長エンジンとして、我が国の発展をリードし続けるためには、そうした変化に的確に対応し、新たな付加価値を生み出していかなければなりません。

今年も、国内外のネットワークを活用して最先端の技術・サービス・人材を取り込みながら、モノづくり産業と融合した愛知独自のスタートアップ・エコシステムを推進し、新たな付加価値を創出し続ける「愛知発イノベーション」の実現を目指します。

あわせて、ジブリパークの整備を始めとした愛知の魅力を高める取組を着実に進め、国内外での愛知のプレゼンスの向上を図ります。

また、リニア大交流圏を見据えた社会インフラ整備、農林水産業の振興、教育・人づくり、女性の活躍、医療・福祉、環境、雇用、多文化共生、防災・交通安全、東三河地域の振興など、県民生活と社会福祉の向上にもしっかりと取り組んでまいります。

愛知県では、今年も、ロボカップアジアパシフィック大会・ワールドロボットサミット、世界ラリー選手権などのビッグイベントが開催される予定です。万全の準備を整え、愛知の魅力を世界中に発信してまいります。

県民の皆様笑顔で元気にお過ごしいただけるよう、昨年策定した「あいちビジョン2030」の基本目標「暮らし・経済・環境が調和した輝くあいち」危機を乗り越え、愛知の元気を日本の活力に「の実現に向け、全力で取り組んでまいりますので、一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

2021年元旦

